

仲間力

世田谷区立桜丘小学校
令和6年5月22日(水)
校長室だより No.4
校長 東城 良尚

【いよいよ運動会です】

いよいよ今週土曜日は待ちに待った運動会です。朝の登校時、正門で挨拶していると、1年生が「校長先生、運動会楽しみ!」と話しかけてくれました。子どもたちは運動会という目標に向かって一人ひとりもてる力を発揮しながら練習に取り組んでいます。

さて、文部科学省の学習指導要領では運動会を含む健康安全・体育的行事のねらいについて次のように示されています。

「心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること」

私は何かアイデアが詰まったとき等、そもそも論に立ち戻るよう心掛けています。「そもそもこの作業(仕事)はなんのためか」「そもそもこの行事はなんのためか」というように、本来の目的を見失うことなく物事を進めていくことが道を逸れない大前提と考えます。国で示されている運動会の「そもそも」の目標は先に紹介した通りです。これにプラスして、私なりに運動会で大切にしたいことの一つに「競争によって優れた点を発見し伸ばす」ことがあります。私は一人ひとりの個々の優れた才能を伸ばすために、子どもたちに適度に「競争」する機会をもたせることも必要だと考えています。昨今、社会全体が機会の均等のみならず、ともすれば結果の平等までも当然のこととして求める傾向がなきにしもあらずと感じています。報道等によると「子どもたちが傷つからないように」「優越感や劣等感をもたせたくない」という理由でできるだけ競争させたくない意見もあるようですが、むしろ真剣に競争する経験を通して個々の優れた点が浮き彫りになるからこそ、自分の強みを知ることができるのではないのでしょうか。それは正々堂々と競い合い、結果として負けてしまった側も同じです。いたずらに勝負にこだわりすぎる必要はありませんが、よい意味での競争や切磋琢磨によって子どもたちみんながそれぞれの良さを理解し、互いに認め合うことができる、その一助に土曜日の運動会がなるよう願っています。

【全校朝会講話より】

5月13日(月)の全校朝会では「 $+\alpha$ 」をテーマにしました。「ものすごく頑張ること」は我々大人でもそうできることではありません。「ほんのちょっと」の努力なら初めの一步も踏み出しやすいですし、長く続く可能性が高まります。このほんのちょっとの積み重ねが大きな成長につながる、あと少し、もう少しの努力を大切にしてほしいという趣旨で話しました。

